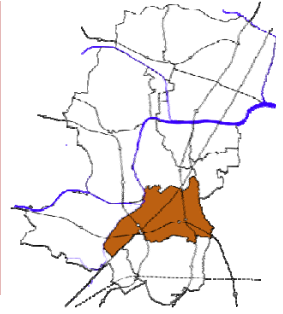


# みんなであう まちづくり

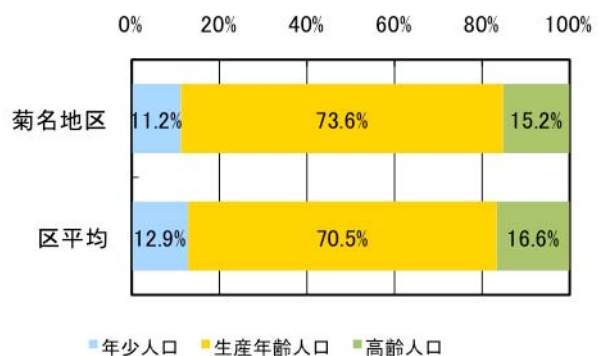


菊名地区人口と世帯数(概数)

|      | 世帯数     | 人口      | 平均世帯人員 |
|------|---------|---------|--------|
| 菊名地区 | 20,000  | 37,000  | 1.88   |
| 港北区  | 157,054 | 324,813 | 2.07   |

\*平成 22 年 9 月末現在

年齢3区分別人口構成



## ◆わたしたちのまちの特色

- ・菊名地区は、菊名3丁目の一部、菊名4～7丁目、篠原北1～2丁目、大豆戸町、新横浜1～3丁目、富士塚2丁目の一部、篠原町の一部、錦が丘をその範囲としています。
- ・人口は約37,000人で、高齢人口が年少人口よりやや多くなっています。
- ・菊名地区には、東横線、横浜市営地下鉄線、横浜線、東海道新幹線の駅があり、交通の利便性が比較的良好、公的施設、医療機関、商業施設も多くあります。
- ・新横浜、大豆戸町などは比較的平坦な地形ですが、篠原北、錦が丘や菊名の一部などは山坂が多い地形となっています。
- ・区内でも早くから開発された地域で、高齢化が進んでいる一方で、新築マンションが建ち、転入者の多い地域でもあります。
- ・特徴の異なる地域がまとまって1つの地区を形成しており、抱えている課題が地域ごとに異なる面も見られます。

## ◆これまでの頑張り

- ・菊名地区の第1期地域福祉保健計画では、支えあい連絡協議会により、菊名駅バリアフリー化の実現、高齢者や小学生の見守り活動、障害者の会やその支援団体などによるバザー「らくらく市」への参加、「生活安全安心メモ」の作成などを行ってきました。また、高齢者支援のためのアンケート調査、交通弱者のための階段・坂道など歩行困難道路の調査なども行いました。
- ・菊名地区社会福祉協議会では、民児協による一人暮らしの高齢者を対象とした昼食会や子育てサロン等の活動、地域ケアプラザを中心とした子育てフリースペース、高齢者の介護予防サロン、障害者等との交流事業やボランティア講座などの様々な取り組みを行ってきました。
- ・地域では、相乗りタクシー、お出かけバス、打ち水大作戦、七夕、ハロウィン等、地域や参加対象も多様な自主的な活動が活発に行われてきました。

## ◆これから目指していく姿

- ・菊名地区では上記のとおり第1期地域福祉保健計画で様々な成果をあげたほか、各種の団体が子育て支援や高齢者支援の活動などを多様に展開しています。
- ・今後は活動の担い手を更に広げ、活動団体相互の連携をより一層深めていくことが大きな課題です。
- ・そこで第2期では、支援される当事者の側も含む地域の様々な構成員が、お互いに知り合うこと、情報を共有することで、連携の基盤をかため、「みんなで支えあうまちづくり」をめざしていきます。

## ◆わたしたちのまちの取り組み

| キーワード     |      | 取 り 組 み   |  |
|-----------|------|---|--|
|           |      | 目 標   | 具 体 策  |
| まちの<br>なか | 理解   | 障害者や発達障害などの障害児とその家族について地域での見守りをすすめていくため、「障害を知ろう」「障害への理解を持とう」という人を増やします。 | 町内会・地区社協・民児協などの地域の担い手が、障害に詳しい職員や専門家、障害当事者やその家族などに話を聞く機会を設け、徐々に理解を深めます。<br>また、らくらく市への参加を続けるとともに、地域の行事・イベントに障害児者を招待するなど交流の機会を設けます。                 |
|           | 担い手  | 地域の行事や活動などに幅広い年代が参加する機会をもうけ、地域活動の担い手を発掘します。                             | 地域のイベントに小中学校や子供達が参加する機会をつくります。<br>地域の学校や子供会、商店会などと一緒にできることを検討し、実施します(清掃活動、高齢者との文通など)。<br>具体的な活動内容・活動の場を設定し、新たなボランティア募集と受け入れを行います。                |
|           | 環境   | 安全・安心なまちを実現するための環境づくりをすすめます。  | 防犯パトロールの強化を図ります。<br>高齢者が安心してでかけられるよう、坂道の多い地域を中心に休憩できるベンチなどを設置する計画をすすめます。   |
| まちの<br>なか | 知る   | 近所同士の顔見知りになるような日常の関係づくりをすすめます。  | 防犯パトロールや町内広報回覧などの機会をとらえて声かけをします。<br>住民同士があいさつをかわす運動をすすめます。   |
|           | 活動   | 地域の様々な団体等の活動内容についてお互いに情報共有していくことで、人材の交流をつくりだし、活動を活性化します。                | 民児協・町内会・地域ケアプラザ・地区社協・地区センター等での活動や、地域作業所・老人福祉施設・NPO・自主的な活動団体等の活動の内容・イベントスケジュールの情報を共有するためのしくみを検討します。(活動一覧・スケジュール表・マップ等の作成、情報交換会等)                  |
| まちの<br>なか | 情報   | 地域の高齢者や障害者に、地域の取り組みや地域の資源などの情報を届け、地域に出るきっかけをつくります。                      | 地域の行事・イベントに高齢者や障害児者を招待するなど交流の機会を設けます。  |
|           | 早期発見 | 一人暮らしの高齢者や災害時要援護者の見守りができる地域をつくります。<br><br>行政と協力して、高齢者の安否確認に取り組みます。      | 地域で高齢者が困ったときに気軽に相談できる家をステッカー等で表示する「高齢者 110番」のしくみをつくります。<br>災害時要援護者支援の取り組みを一部の町内会でモデル的に進めます。<br>交流サロン設置や送迎支援の活動と連携し、一人暮らし高齢者等の見守りネットワーク事業に取り組みます。 |

## ◆菊名地区の活動

チャリティバザーらくらく市



1歳・2歳・3歳児の会



公園遊び「ぴよんぴよん」



大豆戸っ子給食会



菊名地区敬老会



## ◆策定委員構成

菊名地区連合町内会（表谷、大豆戸、菊名北町、錦が丘、新横浜、泉ヶ丘、ふじ、大倉山ハイム、大倉山喜久和）／菊名地区社会福祉協議会／篠原北地区民生委員児童委員協議会／大豆戸地区民生委員児童委員協議会／菊名地区民生委員児童委員協議会／菊名地区支えあい連絡協議会

## ◆ふり返りの仕方

素案として計画した取り組みが、具体的に進めることができるのかどうか、あるいは具体的に進めようとした取り組みが、どのように進展しているのかを確認する「ふり返し」を随時行い、達成状況に応じて、修正・見直しを行っていきます。

## ◆最後に

準備会で話し合いを行っていく過程で、菊名地区はエリアが広範囲であり、地域によって住環境や生活環境などが異なり、課題にも違いがあるため、菊名地区、大豆戸地区、篠原北地区に大別して、それぞれの町内会、民児協で話し合いを行っていくことにしました。幾度かの各地別の話し合いの結果を持ち寄り、3地区合同による計画策定委員会を設け、計画の素案を策定しました。